

2007 年度第3 回日本学生オリエンテーリング連盟幹事会 議事録

2007年6月10日

広報部員 丸藤純

日時：6月2日（土） 15時～

場所：東京都青梅市 ロイヤルイン菊水・河辺

出席者

幹事・会計監査

氏名	役職	学校と学年	出席
奥田雄彦	幹事長	早稲田大学 4 年	
西村徳真	副幹事長	京都大学 4 年	
清水亜希子	会計	津田塾女子大学 3 年	
稲垣考宣	事業部長	京都大学 4 年	
木村裕策	広報部長	早稲田大学 4 年	×
神山康	事務局長	早稲田大学 4 年	
小林知彦	普及部長	名古屋大学 3 年	
瀧沢真一	北東地区代表幹事	北海道大学 3 年	
高松駿	北信越地区代表幹事	金沢大学 3 年	
渡辺悠貴	関東地区代表幹事	慶應義塾大学 3 年	
南部三王	東海地区代表幹事	名古屋大学 3 年	
下堂文寛	関西地区代表幹事	京都橘大学 3 年	
林太郎	中九四地区代表幹事	山口大学 3 年	
藪田明野	会計監査	東京女子大 4 年	

理事・その他役員

堺信夫	普及部・組織強化担当理事		
西脇正展	技術委員長		
丸藤純	広報部員	岩手大学 4 年	

1. 自己紹介

上記出席者を参照。

2. 平成19年度予算案について

資料参照

確認しました。

部局会計作成について

< 現状 >

部局ごとの集まりなどで使うお金も日本学連会計から出していたので、会計の負担が大きかった。その問題を解決するために部局ごとに会計を出して、部局のお金は部局会計に処理してもらいたい。

部局ごとの会計が出来たら、部局ごとの予算を作成する。

- ・1年間ごとに決算を行うのか？

行う。会計に提出する時は領収書をもらう。

部局ごとに口座を作ってはどうか？

- ・部局の数が多いから作るのは大変ではないか。
- ・引継ぎの大変さもある

個人名義で部局の口座を作る。

前年度からの繰越はあるのか？

余ったお金は日本学連会計に返す。

部局会計の引継ぎ

- ・口座の名義変更を考えると、部局会計を1つの地区に集めたほうがいいのか。
- ・部局ごとに担当の地区を決めて、毎年その地区から会計を出せばいいのではないか。

<今後>

- ・事務局以外の部局は会計の担当者を決めて、会計に連絡する。
- ・部局会計は個人名義の口座を作る。
- ・部局名義の口座を作るかと、引継ぎの方法は次回以降の幹事会で考える。

3. 諮問委員会承認

資料参照

第11条を削除する理由は？

諮問委員会の柔軟な運営に対して、内規の改定が大変だと硬直化をもたらす可能性があるから。

但し書きとして、幹事会からの変更を受け入れる旨の文を付け足す。

余計な口出しをしないとあるが、JOAやジェネシスマッピング社と話し合う場合はどうするのか？

理事や幹事と一緒に行動し、勝手には行動しない。

幹事会から諮問されたことだけを扱うのか？

諮問委員会が独自に考えた案件と、幹事会から出た案件を扱う。

第3条の意味は？

幹事会ごとに報告を行うということ。

委員長の承認

13/13 で承認。

4 . インカレにおけるドーピング検査について

資料参照

インカレ実施規則へのドーピング関連項目の追加

次回の幹事会、総会へ持ち越し。

今年度のインカレでのドーピング検査

インカレロング

整備の不足により、検査が行われるかまだわからない。

インカレミドル・リレー

こちらでは行われる可能性が高い。

5 . (株)日本旅行契約確認

契約確認

資料が足りないため、次回に持ち越し。

日本旅行への今年のアンケートを考える。

事業部長が行う。

日本旅行と折衝する担当

東京南支店と契約をしているので、関東から人材を探す。

企業が相手だから複数年できる人がいい。

学年が異なる複数人にすれば、引継ぎがスムーズに行える。

関東から事業部員を探す。

< 今後 >

- ・ 事業部長が今年のアンケートを考えて、草案をML上に流す。
- ・ 関東から事業部員を探す。

6 . 平成19年度新歓について

新歓のアンケートがまだ2枚しか返ってきていないので、まとめ次第結果をMLで流す。

新歓アンケート

来年度は変えようと思っている。

- ・ 新歓は各大学で違うから、学連がリーダーシップをとるのは難しい。
- ・ 他大学の情報を流す必要はある。

新歓がうまくいかず困っている大学に、新歓で成功している大学の情報を流す。

各地区学連の様子

関西

日本学生オリエンテーリング連盟

- ・少ない。練習会の合同開催はうまくいったが、新歓では連携できなかった。
- ・京大はビラを毎日配っていて、すでに6人入っている。今もどんどん増えていて、6月になっても新歓を続けている。

東海

- ・多い(理由はわからない。)
- ・名大はビラを貼って置いておいただけ(配ってはいない)。1日に2回貼っている。

中九四

- ・0人
- ・山大はビラ配りや掲示板に貼ったりした。女子が少ないから、来た女子に敬遠された。

関東

- ・どこに聞いても減少傾向。
- ・早稲田大はビラを貼って新歓。

北東

- ・大学ごとの繋がりが薄いからよくわからない。
- ・北大は2人。ビラ配りとビラ貼り。
- ・岩大は10数人。ビラ配り、ビラ貼り、体験オリ。
- ・距離が離れているから、ネットとかで連携していく必要がある。

北信越

- ・金大は男8・女8。もう少し増えるかも。4月に部屋をとって説明会をした。
- ・新大とは車で6時間も離れているから、部長どうしが連絡を取り合っている。こういった情報からアンケートを作って、お互いに高めあう。

7. 日本学連WEBについて

今年の2月から新しくなった。慶應4年の手塚がWEBサイト責任者になりました。地区学連のページも簡単に作れるので、使用したほうがいいのではないかな。

関西

独自のHPがあるので、どうするか今後の地区学連総会で決める。

東海

東海学連の広報部が運用する。

中九四

山口大のHPも無くなってしまったが、なんとか学連のHPを作りたい。

関東

6月以降から運用する。既存のHPと統合するかはわからない。

北東

地区学連のMLに流してそれっきり。次の地区学連総会で話を詰める。

北信越

現在、北信越学連のHPは無いけど、前年度幹事長が意欲を示しているので運用するかもしれない。

HPが新しくなって、元々あったコンテンツで掲載されていないものもある。

今後復旧していくので、足りないものがあったらお知らせください。

8. 理事会報告

2007年度インカレロングの実行委員長・委員会・イベントアドバイザーを決定。

2007年度インカレミドル・リレーの実行委員長・委員会・イベントアドバイザーを決定。

理事会とJOAの理事会での報告

大会の重複

競技者が少ないのに取り合うのは無益だから、すでに日程が決定しているJOAや都道府県協会の大会に当てないで欲しい。

JOAの競技規則と地図作成・公認大会の規定が変更された。

熊本県協会が解散した。

理事会の活動費の増加

関西にいる理事の交通費で増えた。

< 今後 >

- ・学連の方針として、JOAや都道府県協会が主催する大会と同日に人を集めるような活動はしない。
- ・そのような活動をした大学には、広報部が注意をする。

9. 技術委員会報告

定例会

年に1回の定例会を6月か7月頭に行う予定。

インカレロング・インカレミドルの競技者配分数を公表した。

インカレロング・インカレミドル・リレーのイベントアドバイザーを推薦した。

講習会や競技規則

ニーズや改善点が出てくるといい。講習会は7月ぐらいまでに決めるので、それまでに連絡が欲しい。

ユニバーシアード

今年度中にユニバーの要項が出る。インカレミドルの優勝者は今年も推薦の予定。

< 今後 >

講習会について、各地区学連ごとにアンケートをとる。

10. テレインコントロールワーキンググループ報告

資料参照

11. インカレミドルのエリート枠削減・B-final 改革

<現状>

ミドルのエリート枠が多いことで、2006年度のインカレミドルでは参加者の半分以上がエリートを走っている。これだけ多くの方がエリートを走っている現状は適切なのだろうか？また、B-finalも選手権の部であるのに、扱いが適切ではないように思われる。

エリート枠削減

エリートの枠を2/3に削減してはどうか？

エリートを減らすと収入面が厳しくなる。また、エリートが少ないと盛り上がらない。

学校枠

学校枠で色々な人にエリートに参加してもらい、インカレを盛り上げようとしているが、走りたい人が走れる状態で適切なのか？大学にエリートがいなくても、リレーとくっついているのだから、参加者は減らないのではないのか？小さい大学だと遅くともエリートを走れるのが不公平。

予選の参加者が多いのは、A-finalのみをエリートと考えたから。各大学に1人でもエリートがいないと、参加者が表彰式まで残らないのではないのか。中小大学への配慮をしっかりとしてください。

B-final

B-finalもエリートなのだから、それなりの扱いをしたほうが良いのではないのか。運営の負担が増えるが、C-finalを作ってB-final通過を目標とできるようにしたり、B-final通過者に学連枠を与えるなどしては。

B-final、C-finalの意見は以前からあったが、運営の負担が増えすぎる。そのようにすると、時間の制約でB-final、C-finalを走っている人はA-finalの応援が出来ない。それでインカレが盛り上がっていると言えるだろうか。

競技者配分

前年度の参加人数の割合を考慮しすぎているのではないのか。

関東の割合が大きすぎるから、もっと減らして実績重視にしては。

今年度中に計算方法を改正する。

- ・総数を変えずに割り振り方を変える。
- ・4年生が獲得した枠を次の年に使っているのか。

新しい計算式を技術委員長が考える。

計算方法

- ・セレクションでウィニングの何%以下は駄目とする。

レースによってばらつきが出る。

- ・予選で 20 位以内になった場合に獲得できる学連枠を減らしてみても。
- ・何が基準なのか？ どういう人がエリートの予選に出られればいいのか？
各学連で 1 番下のラインが同じようにすればいいのでは。
上位層の人数で下位層の人数を予想すれば。

< 今後 >

- ・地区学連代表幹事が地区学連で学校枠が必要か聞き、その理由も聞く。また、自分の学校にエリートがいない場合、インカレに参加したいと思うか聞く。
- ・副幹事長が技術委員長と連絡を取ってすすめる。

1 2 . 理事長のジェネシス社長兼任問題の実態調査

インカレ担当の木村理事と土方理事、太田諮問委員、奥田幹事長で近日中に上田理事長と話し合う。

次回以降に報告。

1 3 . J O A への帰属問題について

資料参照

J O A からの提案

I O F に登録しているのは、日本では J O A だけ。日本学連も J O A の会員になったほうがいいのではないか。

J O A が赤字だから加盟料をとりたくないのではないか？

J O A とどのように関わっていくか。

競技者登録

昔は一時 J O A の競技者登録を代行していたけど、手続きやお金の問題で 2005 年以降行ってない。

何らかの形で J O A と連携したほうがいいと思うけど、不便さを被るなら連携しないほうがいい。

日本オリエンテーリング協会に加盟することは必要。加盟するなら登録料を払うのは当然。

登録料を J O A と学連の両方に払わなければならないのはおかしいのではないか？

競技者登録は本人の意志に任せておいていいのではないか。

< 今後 >

- ・色々条件を提示して J O A と交渉する。
- ・都道府県協会が所有している地図でオリエンテーリングをする時は、猟友会との調整なども J O A に行っても欲しい。

- ・ J O A が学連とどういう関係を結びたいかわからないうちは、学連の帰属の仕方もわからない。

14 . インカレ参加費削減のための交渉

資料がそろっていないので、次回以降に行う。西村副幹事長が主体で、太田諮問委員と行う。

15 . 日本学連の「メールマガジン」発行

<現状>

幹事会を中心とした場所で何が行なわれているのかを加盟員がわからず、問題意識の共有が出来ていない。それに伴って、幹事と加盟員の意識の違いが大きすぎる。

いぶき

中身

- ・ 今、何が話し合われているのか。
- ・ 地区インカレとかも取り上げてみては。

広報

- ・ 中身の告知。大きい大会で紙版を出してみては。
- ・ 各渉外に部員に見せるように徹底する。
- ・ 部数が少なくても紙版があるといい。

発行

- ・ W E B 掲載。
- ・ 紙版 (W E B にも掲載)

<今後>

関東の広報部員中心で次の幹事会までに紙版の試作を作る。

16 . インカレミドルリレー2007 web サイト公開の承認

13/13 で承認

17 . 各部局報告

事業部

引継ぎと人を集めている最中。

広報部

方針

- ・ 2本の柱の独自性を育てながら、情報を公開・伝達していく。

位置付け

- ・ 機関紙「いぶき」

競技者が必要とする情報の提供。テライン・大会情報・インカレ・観光案内
・WEB

幹事会の動向、活動報告を中心に提供。

事務局

資料参照

普及部

5月に日本学連のMLに新歓アンケートを送った。

18. 地区学連活動報告

資料参照

北信越学連交流会とは？

交互に行って、花火・ご飯・飲み会・鬼ごっこ的なことやっているが、近年は雨のためにはポージングとかになっている。

19. その他

賛助会員の獲得

賛助会員になって得だと思ってもらえるようなことをしていく。(まだ、実行段階の大変さを考えていない。)

特典の整備

- ・割引
- ・インカレ地図の無料配布
- ・ICMで学生と同じ宿に泊まれる。

普及部の営業みたいな人は作れないのか？

普及部員はほとんどが東北大生だからわからない。2年以下の勧誘をしていく。

<今後>

- ・小林普及部長が賛助会員への特典について、文章にして6月中にMLに流す。

関東学連事務局問題

関東学連の事務局が日本学連の事務局から撤退した。

次回幹事会までに、関東学連は日本学連へ撤退の届けを書面で提出する。

栃木県テレイン管理問題

今年の4月から、栃木県のテレインでオリエンテーリングをする場合は、1人1日100円払うことになった。

学連としては払わなくて済むようにしたい。

<今後>

- ・理事会と諮問委員会がこの件にあたる。
- ・神山事務局長がこの連絡を受けた前事務局長にヒアリングを行う。

日本学生オリエンテーリング連盟

- ・幹事長がテレインを使用する際は、お金がかかる旨の情報を加盟員に連絡する。

20．次回幹事会日程

9月15日(土)に行う。